

## 令和8年4月記者会見

### 質疑応答の概要

#### ①ユートミヤ（富谷市複合図書館）5月1日グランドオープン

Q.

長年取り組んできたユートミヤがいよいよ5月1日にグランドオープンとなりますが、今の市長のお気持ちと、改めて市民の皆さんにどのように利用していただきたいかを教えてください。

A.市長

ユートミヤは、10年かけて市民の皆さんからたくさんのご意見をいただきながら、皆で作りに上げてきた施設だと思っております。総額約31億円の建設費となりましたが、約半分の15億1,000万円は国の交付金（都市構造再編集集中支援事業費補助金ほか）を確保し、これまでに本市になかった大きな施設を建設することができました。2月末に業者からの引き渡しが終わった後、3月に施設内覧会を行ったところでございますが、13時から15時まで2時間の間に1,000人を超える多くの皆さんに足を運んでいただきました。その時の喜んでいただいた皆さんの姿が今でも忘れられません。その後、とみのわひろばのプレオープンでも多くの皆さんにご来場いただき、現在グランドオープンに向けて、急ピッチで準備に取り組んでいるところでございます。なにより、私はこの10年間、市民の皆さんと行ったワークショップなどにすべて参加させていただきました。これまで市民の皆さんの思いや期待の声を聞きながら共に歩んできたので、今回グランドオープンを迎えられることは本当に特別な思いであります。一部とみのわひろばについては、午前中は市民限定とさせていただいておりますが、午後からはフリーで、さらに図書館やスイーツステーションはすべて市外の方々も自由にご利用いただけるようにしております。様々な過ごし方ができる施設だと思っておりますので、市内外問わず、ぜひ多くの皆さんに足を運んでいただき、楽しんでいただければと思います。また、市制施行10周年の節目の年に、富谷の新たなシンボルとなる施設ができますので、新しい出会いや学びが生まれる場所にしていきたいです。

#### ④新商品・富谷ブルーベリー&とみやはちみつプレミアムサイダーの販売開始

Q.

新商品のサイダーを飲んだ市長の感想をお聞かせください。

A.市長

これまでのブルーベリーサイダーよりも、ブルーベリー色が鮮やかに出ているのが特徴で、はちみつを加えたことで甘みの深みが増していると感じております。とってもおいしいです。これから暑い季節がやってくるので、ぜひ皆さんにも味わっていただきたいです。

## ⑥宮城県内初となる市立全小・中学校水泳学習の委託開始

Q.

---

学校のプールで水泳授業を行っていたときと比べ、プールの維持管理費などの経費がどのくらい削減されたかなど、財政的な効果があれば教えてください。

A.学校教育課長

---

今回の水泳学習の委託は、20年スパンの試算をしております。20年スパンで水道代や改築費用等で学校のプールをそのまま使用した場合は約30億円、民間委託した場合は約10億円となっておりますので、おおよそ20億円の経費が削減されているということになります。

Q.

---

市内の小・中学校13校すべてでプールの民間委託を行うということですか。

A.学校教育課長

---

その通りです。

Q.

---

5月7日が初回ということですが、今後、市内の他の小・中学校ではこういったスケジュールで水泳の授業を行う予定なのか教えてください。

A.学校教育課長

---

5月7日から令和9年2月25日までの期間で、全学年5回ずつの授業を予定しています。

Q.

---

各学校のプールで行っていた授業は完全になくなるということですか。

A.学校教育課長

---

その通りです。

Q.

---

学校からフィットネスクラブまではどのように移動するのですか。

A.学校教育課長

---

フィットネスクラブのバスを利用して移動します。

Q.

---

一番遠い学校だと、移動にどのくらいかかりますか。

**A.学校教育課長**

---

富谷小学校で、交通状況にもよりますが最大で約 40 分です。

**Q.**

---

他の授業に支障がないように行われるのですか。

**A.学校教育課長**

---

学校のプールを使用していた時に比べると移動時間は発生しますが、移動時間も含めて調整して授業を組んでおります。

**その他の案件**

**Q.**

---

病院の件につきまして、学校法人東北医科薬科大学との基本協定の締結は当初 4 月を目指していたと思いますが、現在の進捗はいかがですか。

**A.市長**

---

当初は 10 月に覚書を締結させていただき、その後、基本協定は 4 月に締結する予定とお伝えしていました。順調に調整を進めているところですが、診療科や大学附属病院の関係の内部の調整などについて、当初よりも時間を要しています。診療科目等については重要事項でもありますので、時間をかけて慎重に検討していきたいと思っております。

しっかりと話し合った上で基本協定を締結した方が良いということで、5 月中には基本協定の締結をする方向で、現在進めているところでございますので、もう少しお時間をいただければと思っております。

**Q.**

---

また、事業費についてですが、現在物価高騰や中東情勢の影響もあり、当初とは状況が変わってきていると思いますが、今のところ事業費への影響はありますか。

**A.市長**

---

新設する病院の事業費については、すべて学校法人東北医科薬科大学側で負担することとなりますので、影響がかなりあるのではないかとはお思っておりますが、詳細までの確認には至っておりません。そういった中で、予定どおりの開設に向けて、さまざまな工面をしながら、調整を行っているところです。例えば、以前構想のペースが決まった際は、高層の建物を予定しておりましたが、現在、それを若干低層にするかどうかなどの見直しや検討を行っているところです。それに伴い、当初の用地面積は 33,000 m<sup>2</sup>としていましたが、低層にする場合、もう少し用地が必要となるかもしれないので、その場合は大学の意向を最優先に、こちらも対応していこうと考えているところでございます。また、以前は 1 床 5,000 万円と言われていたのが、現在では 1 床 1 億数千万円と言われておりますので、そこは大変なと

ころかなと思っております。病院の開設に向けては、予定どおり、基本協定も5月中に締結できるように順調に進められておりますので、どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。

Q.

現在、都市型自走式ロープウェイの導入を検討されている状況ですが、さまざまな公共交通の中でなぜロープウェイなのかを改めて教えてください。

A.市長

これまでの住民アンケートでも、市民の皆さんが必要だと思える施策の中で泉中央駅からの公共交通の整備が7割を超え断トツでした。最初に、地下鉄を延伸させた場合にどのくらいの費用や整備期間がかかるかなどの導入可能性調査を行いました。しかし、地下鉄は予想以上に費用や整備期間がかかるという結果が出まして、なかなか難しいと考えました。そして、次の案として調査したのがBRT（バス高速輸送システム）でした。BRTであれば、もう少し費用を抑えられるのかなと思いましたが、調査してみると、こちらも予想以上に費用がかかるということで、そんなときに出会ったのが都市型自走式ロープウェイでした。整備費用は地下鉄の10分の1であり、整備期間も約5年と比較的短いということで、導入に向けて調査を始めました。昨年度、一年間かけてまずは導入可能性調査を行い、物理的に整備は可能であることが判明しました。都市型自走式ロープウェイの最大の魅力は、整備費用が安価で整備期間が短いこと、自動運転なので人手不足にも対応できること、動力がEVなのでCO2を排出しないことなどが挙げられます。まさにこれからの時代にマッチし、現在の社会課題に対応できる公共交通になり得ると私は考えています。大変な取組ではありますが、市民の声を実現していくのが我々の責任だと思っておりますので、諦めることなく、可能な限り市民の皆さんが一番望んでいる交通利便性の確保に向けて努力をしていきます。

Q.

都市型自走式ロープウェイを導入した場合の、将監トンネル付近の渋滞緩和などに関してはどうお考えですか。

A.市長

市民の皆さんの思いがまずは第一ですが、その背景にあるのは、なんと言ってもやはり泉中央付近の慢性的な渋滞でございます。この渋滞問題は、仙台都市圏、県内で一番渋滞がひどいと言われ、現在大きな課題となっております。都市型自走式ロープウェイという新しい公共交通を作ることによって、将監トンネルに入る車を手前で減らすことができ、その結果、渋滞緩和に効果があると考えています。今回、まずは泉中央から明石台、成田、大清水とつなぐ計画を立てておりますが、駅を作るだけでなく、そこにパークアンドライドを行える駐車場も整備もすることで、渋滞問題の解消につながると考えています。